

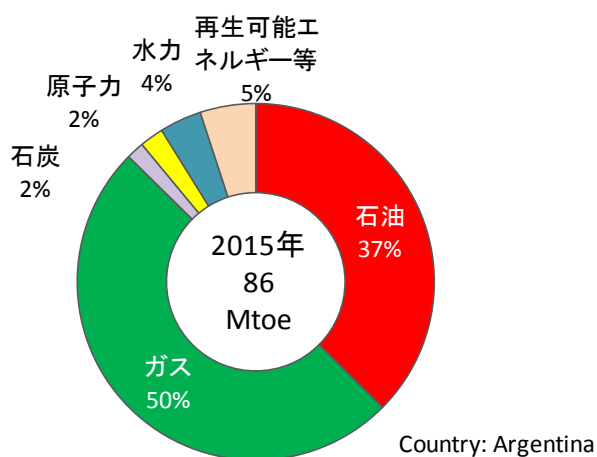
### 3-7 アルゼンチン

#### 1. サマリー

##### 1. エネルギー事情

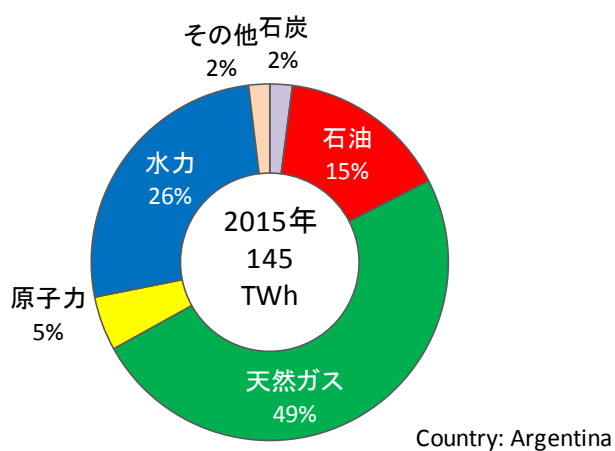
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 86 百万 toe (日本の20%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 1.98toe/人 (日本の58%)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 86%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 191.4 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の16.8%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 4.40 CO<sub>2</sub> 換算 ton/人 (日本の48.9%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2016年末) : 原油 10.6年、天然ガス 9.2年、石炭 : -

一次エネルギー供給構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

電力供給構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) 資源・エネルギー政策担当機関

- アルゼンチンで資源・エネルギーを管轄するのは、連邦計画公共工事サービス省であったが、2015年12月に大統領に就任したMacri氏は、同省を4つの省に分割し、エネルギーはエネルギー鉱山省が管轄することになった。大臣にはShell Argentinaの前CEOで前政権とエネルギー政策を巡って対立していたJuan José Aranguren氏が就任した。

### (2) 基本政策

- 2001年12月の対外債務不履行により経済危機に陥ったアルゼンチン政府は、エネルギー部門への関与を強め、価格を抑制する政策を採ってきた。この結果、民間エネルギー会社の投資意欲が減退し、アルゼンチンの原油、天然ガス生産量は減少を続けている。2012年以降、政策の転換を始めたが、化石燃料の生産は増加していない。2015年12月に誕生したMacri政権は、エネルギー部門への関与を弱め、投資を呼び込む政策を展開している。
- 外貨準備高の少ないアルゼンチンの基本政策は、国内化石燃料の生産増加、原子力発電の増加、再生可能エネルギー電源の増加により、エネルギーの輸入を減らすことにある。

### (3) 最近の動向

- 2015年12月に大統領に就任した野党で中道右派のMacri氏は、様々な規制を撤廃している。
- 2015年9月の再生可能エネルギー法では、再生可能エネルギーによる発電のシェアを2018年までに8%、2025年までに20%とする目標が設定されている。2016年5月、Macri大統領は2025年までに再生可能エネルギー発電能力を10GWに増加させるRenovarプロジェクトを発表、2017年12月までに3回の入札が実施された。
- 2017年10月、国営石油会社YPFは300億ドルの投資をはじめとする5カ年計画（2018-2022年）を発表した。2022年の生産目標は70万boe/d、内半分はシェール・タイト由来。
- 2017年10月、アルゼンチンとチリの間で初めて天然ガスのスワップが実施された。2017年12月には両国間でエネルギー交換に関する協定が締結された。一時的な供給不足に対応するものである。

## 3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2000年以降、政府間、政府系機関、民間ともに、エネルギー分野での関係は殆どない。
- 2002年1月、NEXIはアルゼンチン向け中長期案件の引き受けを全面的に停止したが、2016年3月、ホールアウト債権者問題の解決や国際金融市場への復帰等を考慮し、中長期案件について公的セクター向けを含め全面的に引受再開を決定した。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Argentina

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		86 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		1.98 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.19 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		86 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		191.4 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		4.40 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	2 %
	石油	37 %
	天然ガス	50 %
	原子力	2 %
	水力	4 %
	再生可能エネルギー等	5 %
(8) エネルギーの輸入依存度		14 %
(9) 石油の輸入依存度		4 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 天然ガスの輸入先	第1位	ボリビア
	第2位	トリニダード・トバゴ
	第3位	ナイジェリア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Natural Gas Information 2017, IEA